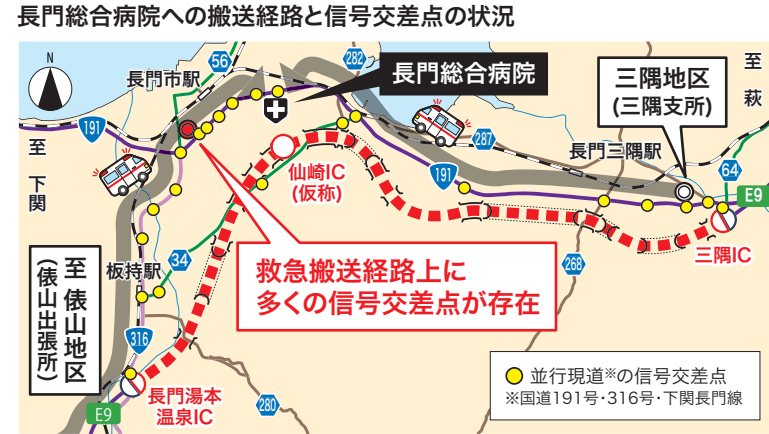


### 整備効果3 救急医療の速達性・確実性の確保

山口県北部地域には三次救急医療機関がないため、重篤患者等の対応については、下関市や宇部市などの管外の医療機関への搬送が不可欠な状況であります(管外搬送は約1割)。

また、長門市の救急搬送人員は年間1,641人(令和2年中)で、その内の約9割(1,473人)を市内中心部に立地する二次救急医療機関へ搬送しており、中心部から離れた地区からの搬送は、搬送時間が増大する傾向にあります。

このため、長門市では病院収容までに要する所要時間の水準が低く、救急搬送時の速達性や確実性が確保されていません。さらに主な搬送経路となる国道191号や316号は信号交差点が多く、患者への負担がかかり、安定搬送の面で課題となっています。

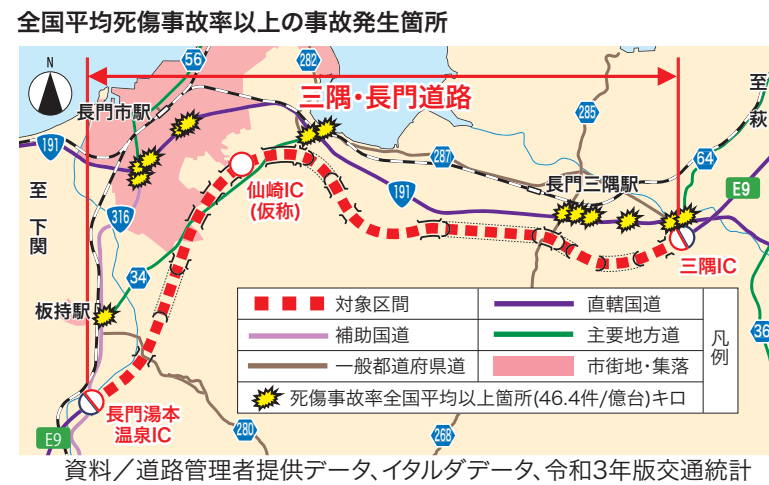


### 整備効果4 安心・安全で快適な走行環境の確保

死傷事故件数は、減少傾向にあるものの、三隅・長門間の国道191号、(主)下関・長門線、国道316号には、全国平均死傷事故率(46.4件/億台キロ)を上回る箇所が14箇所存在します。

また、信号交差点での速度低下が主な要因と思われる追突事故の割合が約8割となっており、全国平均と比べ高い状況にあります。

三隅・長門道路の整備により事故が多発する箇所を回避し、快適で安心・安全な走行環境が確保されます。



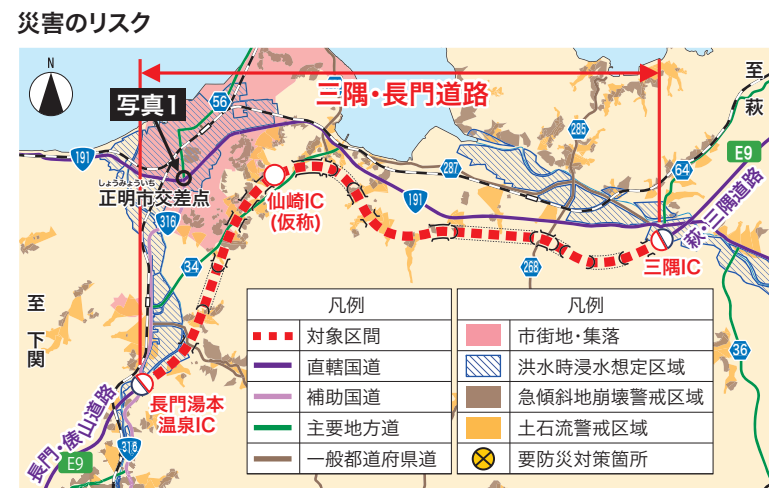
### 整備効果5 災害時に強い道路ネットワークの確保

三隅～長門間の国道191号、(主)下関長門線、国道316号のいずれの路線にも、土砂災害警戒区域が多数存在します。また、長門市街地及び旧三隅町中心部に洪水時浸水想定区域が存在し、防災上脆弱な箇所が集中しています。

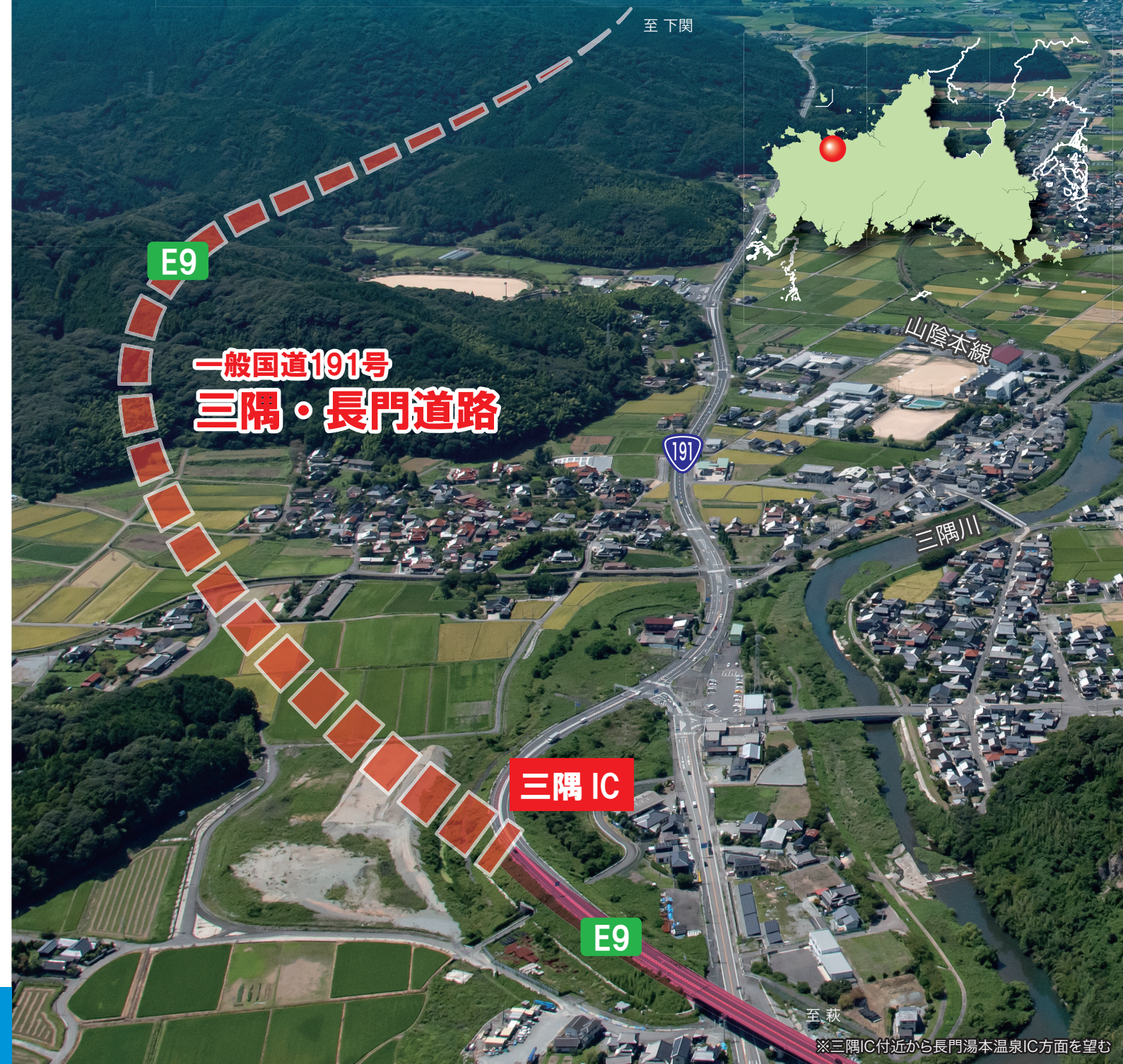
三隅・長門道路の整備により、代替路が確保されるため、社会経済活動や日常生活への影響を最小限に留めることが期待されます。



道路被災状況(冠水)  
(H27.8.25 正明市交差点:冠水時間2時間)



# 一般国道191号 三隅・長門道路



山陰道ポータルサイト  
山陰道全体の計画図や事業の詳細、進捗情報などをお知らせしています。  
<http://www.cgr.mlit.go.jp/sanindo/>





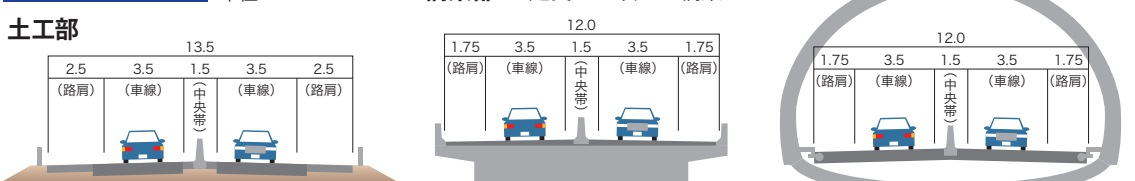
※測量法に基づく国土院院長承認(複製) R2CGF17 本製品を複製する場合には、国土院の長の承認を得なければならない。

## 一般国道191号 三隅・長門道路の概要

山陰道の一部を形成する三隅・長門道路は、山口県長門市三隅中～長門市深川湯本を結ぶ延長10.0kmの高規格道路です。並行する一般国道191号は土砂災害警戒区域や洪水時浸水想定区域が存在し、防災上脆弱な箇所が集中し、通行止めが発生した場合、救命・救急活動や緊急活動に支障をきたすことが懸念されます。

三隅・長門道路は、開通済みの萩・三隅道路・長門俵山道路と連携して、産業活性化の支援、広域周遊観光の拡大、救急医療の速達性・確実性の確保、地域の安心・安全で快適な走行環境の確保、災害時に強い道路ネットワークの確保等を目的としており、広域交流の促進や地域活性化に寄与することが期待されます。

### 標準断面図



### 諸元

延長	10.0km
起点	山口県長門市深川湯本
終点	山口県長門市三隅中
道路区分	第1種第3級
設計速度	80km/h
車線数	完成2車線
都市計画決定	令和5年2月
事業化年度	令和5年度

## 整備効果1 産業の活性化を支援

山口県のかまぼこ生産量は全国第4位で、長門市は多くのかまぼこ工場が立地する生産拠点であり、全国各地に出荷しています。また、同市は養鶏(肉用鶏)も盛んで、県内第1位の飼育羽数を誇り、「長州黒かしわ」等のブランド名で全国に知られています。三隅・長門道路の整備により、速達性や定時性など安定した輸送の確保が期待されます。

## 整備効果2 広域周遊観光の拡大

山口県北部は、平成27年7月に登録された萩市の世界遺産や、近年、観光スポットとして注目される元乃隅神社など、歴史文化資源や自然豊かな観光資源など優れた観光地が多い地域です。高速道路ネットワークが形成されていないため、九州方面からの観光客が県北部まで回遊しておらず、広域的な観光周遊に課題があります。三隅・長門道路の整備により、山口県北部地域の観光拠点へのアクセス性・速達性が向上し、周遊観光ネットワークが形成されます。



※資料/山口県観光振興課調べ(R3山口県観光客動態調査より)